



町の中心、インフォメーションプラザ

会長さんを訪ねて



「巡回指導を強化」

河南桃生商工会

会長 男澤 孝基氏

○会長さんのご商売について
お聞かせください。

終戦直後、父親が古着を取り扱い、その後、衣料品店を開始するに至り、株式会社おとこざわとして今年五十二年目を迎えました。初代の父親は、私が二十六歳の時に他界し、事業を継承しました。

当時は衣料品の他にカーテン等も販売していた事もあり、住宅産業の進展とあいまって、内装工事を行う別会社である

株式会社室内装飾おとこざわを設立し、今年二十九年目を迎えました。

内装業については技術を売る商売と考えています。単価が安くてもしっかりと仕事を

とアフターフォローを行うことで、営業を置かず口コミによる受注をモットーとしています。それが現在の礎にもなっております。

○会長さんのご趣味について
お聞かせ下さい

相撲と野球観戦です。相撲は最近、モンゴルの力士が台頭してきておもしろくないのですが、五時から六時まではしっかりと見ています。

野球はアンチ巨人で、阪神ファンです。地元で楽天が誕生してからは楽天も応援しています。フルキャストスタジアムにも見にいきましたよ。元大リーガーの佐々木を監督にしたら、もっと盛り上がるはずですよ。

○さて、商工会地区の経済環境はいかがですか。

来月四月、三陸道に桃生インターと桃生北インターが開通し、石巻から無料となります。これが大きな問題で、現在、石巻の蛇田地区に大規模な商業施設が建設されており、石巻に隣接している河南地区や桃生地区からの消費の流出が大変心配しています。

○最後に会長さんの抱負や今後の方針をお聞かせ下さい

地域の経済環境が厳しいので、会員との関係を密にするため、職員は週一回は会員訪問し、一事業所に年三回は訪問することをぜひ実施したいと考えています。

商工会の事業では、河南地区でスタンプ事業、桃生地区でスタンプ事業と商品券事業を行っていますが、合併の効果を考え、将来的には両地区のスタンプ事業を一本化し、

それと商品券事業を併せて、一つの母体で実施運営すべきではないかと考えています。

新しいスタンプ事業では、桃生地区が主体となり商業部会と併せ、コストを大幅に削減できるQRコードを利用したものを現在検討中で、商店の活性化に繋がることを期待しています。

がんばる女性さん

「なつかしい味を守る」



吉田菓子店

吉田 るり子さん

加美商工会(色麻)

先々代が昭和七年より、色麻にて菓子製造を始めました。年配の方々には「はっしやのクイ」なんだがぶつけで、あめっこ作って「たんだ」と思いうを語ってくれます。

現在も、白あめとチョココレート色のかっぱまんじゅう、秘伝の皮に包まれたまんじゅうを主力商品として菓子店を営んでおります。しかし、先代の義父がなくなり廃業の危機、義母は職人

さんとともに菓子作りを再開。私も手伝うようになりました。経費節減のため機械導入も決心しましたが、搬入の日義母は立ち会いません。私にとっては挑戦です。機械相手の菓子作り、何キロ粉をダメにしたかわかりません。

思い出すのは義父、ちよつと猫背で一個一個まんじゅうを丸める姿、「なつかしいねえ、おいしかったよ。」とのお客様の声、この菓子をなく



秘伝の皮のえごまんじゅう

せない、守らなければ、ただ一心で進んで来ました。現在は義母と私で二人三脚ですが、義母は草もち、おふかしと作り手だけでなく看板娘までこなし私のお手本です。今では、町内外のイベントにも出店出来るようになりました。これも、多くのお客様に支えられ叱咤激励されたおかげです。感謝の気持ちをお忘れずに、なつかしい味をまもって参ります。